

## 研究名

### 薬剤情報提供書の作成状況と薬剤調整後の妥当性評価

#### 1. 研究の対象

2020年8月から2021年8月までの期間において、当院にて薬剤情報提供書を提供した患者を対象とした。

#### 2. 研究目的・方法

急速に進行する高齢化社会において、高齢者は多病がゆえに多剤併用になりやすい。多剤併用は、薬剤費の増大と薬剤相互作用や飲み忘れ、飲み間違いの発生確率増加に関連した薬物有害事象の増加が問題となる。当院では、入院中減薬や薬剤変更に関する情報を薬局へ薬剤情報提供書をもって情報提供し退院後も一貫した薬物治療管理が行えるように積極的に介入している。そこで、入院中に変更や中止した薬剤に関して薬剤情報提供書を提供した患者を対象に文書による情報提供後、内服再開の有無、中止したことによる再入院の有無を調査した。

#### 3. 研究に用いる情報の種類

観察研究

#### 4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

#### 5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤一郎

#### 6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 田辺 真里